

# 中学校 英語

11

- 1 英語の文章を読んで必要な情報を取り出して、その情報をもとに自分の考えを英語で書くこと 通過率 53.1%
- 2 資料や学習してきたことをもとに、自分の考えを伝える英文を書くこと 通過率 57.1%

11 次の英文は、ヨウコ (Yoko) とタクヤ (Takuya) の学級の英語の授業で、ホワイト先生 (Ms. White) が出した 3 つのヒントから、それが何かを答えるクイズをしているときの会話文です。英文を読んで、あとの 1・2 の問いに答えなさい。

Ms. White : Let's play Three Hints Quiz!

The first question!

What's this?

No.1 It's a bird.

No.2 It can swim.

No.3 It can't fly.

What's this?

Yoko : Is it a penguin?

Ms. White : Yes. It's a penguin. Good!

The second question!

What's this?

No.1 It's a fruit.

No.2

No.3 Monkeys like it.

What's this?

Takuya : Is it a banana?

Ms. White : Yes. It's a banana. Great!

(注) Three Hints Quiz スリーヒントクイズ (3つのヒントをもとに答  
を考えるクイズ) fly 飛ぶ penguin ペンギン  
fruit フルーツ monkey 猿 banana バナナ

1  にあてはまる適切な英文を書きなさい。

2 ホワイト先生は、このクイズをしたあと、今度は学級の全生徒にクイズをつくるように言いました。ペンギンとバナナ以外の答えとなるように、クイズの問題を考えて、3つのヒントの英文とその答えを書きなさい。ただし、答えについては、日本語で書きなさい。

質問 What's this?

ヒント No.1 \_\_\_\_\_

ヒント No.2 \_\_\_\_\_

ヒント No.3 \_\_\_\_\_

答え .....

**【正答例】**

- 1 It's yellow.  
 2 ヒント No. 1 It's an animal.  
 ヒント No. 2 It's very big.  
 ヒント No. 3 It can swim.  
 答え クジラ

11 1

**問題の趣旨**

英語の文章を読んで必要な情報を取り出して、その情報を基に自分の考えを英語で書くことができるかどうかをみる。

**学習指導要領における領域・内容**

ウ 読むこと

(ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

エ 書くこと

(ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。

**主な解答例**

主な解答例		割合 (%)
○	It's (It is) yellow. / Yellow. It's (It is) long. / Long. It's (It is) yellow and long. / Yellow and Long. It's (It is) from Taiwan. It's (It is) sweet. / Sweet. など *バナナについての、ヒントとなりうる英文であれば、内容は異なってもよい	22.7
△	語順は合っているが、大文字・小文字やピリオドの誤りがある。	2.4
△	It's (It is) a yellow. It's (It is) a long. It's (It is) a yellow and long. / It's (It is) a yellow and a long. It's (It is) a sweet. など	15.1
△	綴りの誤りが1か所ある。	12.9
×	綴りの誤りが2か所以上ある。	6.6
×	英文は正しいが、バナナについてのヒントとなる英文ではない。	3.1
×	上記以外の解答	18.7
—	無解答	18.5

**課題**

- 英語の文章を読んで必要な情報を取り出すこと。
- 与えられた情報を基に、自分の考えを英語で書くこと。
- 単語を正確に書くこと。



## 指導のポイント

## 自分の考えを伝える英文を書くために

**Step 1** (基礎作り) 基本単語（形容詞・名詞・動詞）リストを作成し、リズムを使い発音練習をしましょう。ペア活動で言い合わせたり、小テスト等で覚えさせたり、1日1ページなどの家庭学習も上手に取り入れ、定着を図りましょう。

(例) 色・大きさ・数・様子・状態を表す形容詞

色	黄 yellow	赤 red	白 white
形・大きさ等	長い long	小さい small	大きい big
数	1つ one	2つ two	3つ three

(例) 動物名・国名・身の回りの物を表す名詞

動物名	犬 dog	ネコ cat	サル monkey
国名	日本 Japan	アメリカ America	カナダ Canada
身の回りの物	ペン pen	かばん bag	机 desk

(例) 動詞

動詞	好き like	泳ぐ swim	走る run
----	---------	---------	--------

**Step 2** (聞く活動) 小学校外国語活動で体験したクイズやゲームの活動を活用しましょう。

(例) 3ヒントクイズの活動を通して、モデル文に慣れさせる。

ヒント1: It's an animal. ヒント2: It's big. ヒント3: It has a long nose.  
(答 It's an elephant.)

**Step 3** (書く活動) これまで学習したことを基に、生徒が自分で英文を作る活動を仕組みましょう。

(例) オリジナルの作品を作らせてみましょう。(3ヒントクイズの場合)

(手順)

- ① 答えとなるもののジャンル（動物・食べ物・スポーツなど）を考えさせる。
- ② 大きな情報から小さな情報の順でヒントを考えさせる。
- ③ 単語リストや辞書を活用し、英文を書かせる。
- ④ 主語や動詞、三人称単数形や複数形に注意して英文を書かせる。
- ⑤ ペアやグループで英文をチェックさせる。
- ⑥ 最終チェックをして完成させる。



**Step 4** (総合的な活動) 生徒の作った英文を活用した活動を仕組みましょう。

(例) クイズ大会をしたり、生徒の作った英文を掲示したりして読む活動、聞く活動、話す活動につなげましょう。

Let's play 3 hints quiz!  
No.1 It's a fruit.

No.2 It's yellow.

No.3 Monkeys like it.  
What's this?



It's an orange.

It's a lemon.

It's a banana!



12 3 資料や情報をもとに、自分の考えを伝える  
英語の文章を書くこと 通過率 46.8%

12 次の英文は、英語の授業で友達について紹介することになった中学生エミ（Emi）が、近所の高校に留学しているアメリカ人のトーマス（Thomas）にインタビューしているときの会話文です。この英文を読んで、あとの1～3の問いに答えなさい。

Emi : Please tell me about your life in Japan.  
Thomas : All right.  
Emi : What time do you get up?  
Thomas : I get up at six.  
Emi : Really?  
Thomas : Yes. I run in the park every day.  
Emi : Oh, I see. What time do you leave for school?  
Thomas : At seven forty.  
Emi : How many classes do you have?  
Thomas : I usually have six classes. After school I play basketball with my friends.  
Emi : What time do you leave school?  
Thomas : At five fifteen.  
Emi : What do you do after dinner?  
Thomas : I do my homework and watch TV.  
Emi : What time do you go to bed?  
Thomas : I usually go to bed at eleven.  
Emi : Thank you very much.  
Thomas : You are welcome.

(注) tell 話す life 生活 leave for ～に出かける  
leave 去る dinner 夕食

3 次の□は、エミが書いたトーマスの紹介文です。エミになったつもりで、インタビューの内容をもとに5つの英文を書き、紹介文を完成させなさい。

This is Thomas. He is my good friend. He gets up at six.

①

②

③

④

⑤

He goes to bed at eleven. Thank you very much.

- 【正答例】
- ① He leaves for school at seven forty.
  - ② He usually has six classes.
  - ③ After school he plays basketball with his friends.
  - ④ He leaves school at five fifteen.
  - ⑤ After dinner he does his homework and watches TV.

## 問題の趣旨

資料や情報を基に、自分の考えが伝わるように、文と文のつながりなどに注意して英語の文章を書くことができるかをみる。

## 学習指導要領における領域・内容

ウ 読むこと

(オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。

エ 書くこと

(オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

## 主な解答例

	主な解答例	割合 (%)
○	インタビューの内容をもとに、文法的に正しく5つの英文を書き紹介文を完成している。 ※インタビューの内容 ・ He runs in the park every day. ・ He leaves for school at seven forty. ・ He usually has six classes. ・ After school he plays basketball with his friends. (After school he plays basketball.) ・ He leaves school at five fifteen. ・ After dinner he does his homework and watches TV.(After dinner he does his homework. や After dinner he watches TV. でもよい。)	12.3
△	内容を理解する上で支障のない誤り(例: 綴りの誤り, 大文字・小文字の誤り, 動詞の三人称単数形の誤り, 複数形の誤り, 代名詞の誤り, 冠詞の誤り, 前置詞の誤り, 符号の誤り等)が, 1~6か所ある。	34.4
×	内容を理解する上で支障のない誤り(例: 綴りの誤り, 大文字・小文字の誤り, 動詞の三人称単数形の誤り, 複数形の誤り, 代名詞の誤り, 冠詞の誤り, 前置詞の誤り, 符号の誤り等)が, 7か所以上ある。	13.0
×	示された情報について, 文法的に正しく4文のみ書いている。	1.2
×	示された情報について, 文法的に正しく3文のみ書いている。	0.6
×	示された情報について, 文法的に正しく2文のみで書いている。	0.9
×	上記以外の解答	22.9
—	無解答	14.5

## 課題

- 英語の文章を読んで必要な情報を取り出すこと。
- 与えられた情報を基に、文と文のつながりに注意して、まとまりのある一貫した文章を書くこと。
- 単語や文を正確に書くこと。

## 指導のポイント

与えられた情報を基に、文と文のつながりに注意して、まとまりのある一貫した文章を書くために

### Step 1

(基礎作り)

1日の生活を表す動詞を中心に語彙リストを作成し、リズムによって発音練習をさせたり、絵カードを使って、暗唱ゲームをさせたり、小テスト等を行ったりして基本表現を覚えさせましょう。

(例) 1日の生活を表現する動詞

動詞の熟語	起きる get up	～の宿題をする do one's homework	寝る go to bed
-------	---------------	------------------------------	-----------------

(例) 前置詞の付いた表現

前置詞+名詞	6時に at six	公園で in the park	放課後 after school
--------	---------------	--------------------	---------------------

(例) 数字 (時間を表す時によく使う数字を中心に)

数字	15   fifteen	30   thirty	40   forty
----	--------------	-------------	------------

### Step 2

(読む活動)

まとまった英文を読み、分かった情報を整理する活動を仕組みましょう。

(例) Step 1 で覚えた単語を使って、類似問題を作成したり、過去の問題を活用したりして、情報を整理する活動を仕組み。

<実際のエミの話>

(例) My Life  
Hello. My name is Emi.  
I get up at six thirty.  
I go to school by bike.  
I have six classes from  
Monday to Friday. . . .



<メモ>

★大切な情報を整理する。

- ・エミの1日生活の話
- ・6時半に起きる。
- ・自転車で学校に行く。
- ・月曜日から金曜日まで6時間授業がある。(略)

主語が誰かを意識させること。



### Step 3

(書く活動)

Step 2 でメモしたことを英語で書く活動を仕組みましょう。

(例)  
Emi's Life  
Emi gets up at six thirty.  
She goes to school by bike.  
She has six classes from Monday to Friday. . . .

- ★注意させましょう。
- ・主語が三人称になる。
  - ・三人称単数の動詞
  - ・複数形の形



### Step 4

(総合的な活動)

自己表現ノートなどを活用し、例えば、生徒に1日の生活を書かせる活動を仕組みましょう。それを基にスピーチなどの話す活動やスピーチを聞いてメモを取る活動につなげましょう。

自己表現活動 (書く活動)
------------------



Hello, my name is ...  
This is my life.  
I get up at...  
(話す活動)

スピーチを聞いてメモを取る活動  
(聞く活動)

